

Go to Next Stage

3年生は、先日志願書提出があり、自分の志望高校が決定されました。もう目標も決まりました。あとは目標に向かってやるだけです。その前に将来の仕事の確認を。

君の道はどの道

まず始めに

進路を決定するときは、例え高校選択であっても、将来の自分の職業とつないで考えないと失敗します。そして、現在の社会では、高校卒業、専門学校卒業、短大卒業、大学卒業、大学院卒業とでは、仕事についての給料などが違うことを判断の一つとして考えておく必要があります。

もう一つは、ただ単に希望を並べるのではなく、自分の興味や適性を十分に考える必要があります。つまり、勉強が好きなら大学まで行き、技術が好きなら職業高校へ行くというように、自分をしっかりと見つめておく必要があります。

はるみさんの場合

はるみさんは、職業高校の商業科に進学し、専門は商業の勉強をしています。そして、卒業後は専門学校に進学し、そこで、商業の勉強を深めました。もちろん商業の技術もうんと高まりました。

同じ専門学校に、普通科から来た人がいますが、もちろん、はるみさんの方が技術はずっと上です。しかも、その人は今から資格を取らなければなりません、はるみさんはすでに高校時代にとっています。

はるみさんは20歳で社会人になりました。

みきお君の場合

中学を卒業すると、すぐに親戚の工場に就職しました。見習いをしながら仕事を覚え、一人前になるためにがんばっていますが、すでに社会人としてあつかわれています。したがって、責任も大きく誇りもあります。高校に通っている同級生が幼く見える時もあります。

みきお君は15歳で社会人になりました。

けいすけ君の場合

工業高校の電気科に進学し、一日の半分は中学校と同じく五教科の勉強をします。しかし、残りの半分は中学校ではなかった専門科目を勉強します。教科書での勉強もありますが、実習もあります。

けいすけ君は、電気に関する事が好きな生徒です。三年生を終わるまでには、電気関係の一級の資格を取ろうと思っています。そのために、先生方は特訓の勉強や実習をしてくれます。

卒業したら電気関係の会社に就職しようと思っています。

けいすけ君は18歳で社会人になりました。

さきこさんの場合

普通高校の普通科に進学したのですが大学や短大に進学する力がなくて、しかたなく

専門学校に進学することになりました。専門を何にするかとも迷いました。結局中学校時代好きであったコンピュータ関係の学校に進学し、一から技術を身につけました。

相当苦勞しましたが、何とか資格を取って事務員として就職しました。

さきこさんは20歳で社会人になりました。

たくや君の場合

工業高校の機械科に進学しました。専門は機械設備でした。まじめに勉強や実習をすすめ、先生方からも信頼されていました。周りがアルバイトや遊びに時間を使っている中で、こつこつと勉強を重ね高校の推薦を受けて、機械関係の大学に進学しました。そして、機械に関する高い知識と技術を身につけ、その方面の会社に就職しました。

たくや君は23歳で社会人になりました。

りょうこさんの場合

普通高校の普通科に進学したりょうこさんは、一浪した後、合格率30%台の大学進学をものにしました。もちろん、その間のりょうこさんは遊びも部活も恋愛もすべて止めていたのです。

大学では、農業高校から推薦できた人もいました。その人はすでに農業関係の基礎的な知識と技術をもっていたので、応用力がありました。教養科目はりょうこさんが良かったけれど、農業の専門科目はその人が良かったです。

二人とも大学卒業後は農業関係の職業につきました。りょうこさんは農協に就職し、その人は農業試験場に就職しました。

りょうこさんは24歳で社会人になりました。

ひめなさんの場合

普通高校の普通科から大学へ進学しました。専門は法律学です。弁護士になりたかったので、さらに大学院まで進学しました。彼女は高校ではトップクラスでした。大学院を

二カ年で卒業し、弁護士の資格をとったのは28歳でした。もちろん、ある弁護士事務所に就職しました。

ひめなさんはその時は29歳でした。

たかこさんの場合

普通高校の普通科に進学しましたが、勉強がいやになって卒業後はそのまま就職しました。でも、技術も何も身につけていないので、アルバイトをしながら、コンピュータ学院に通って資格を取り、やっと一人前の社会人になりました。

たかこさんは実際には20歳で社会人になりました。

3万円の人生

皆さんは、人生の長さについて考えたことはありますか。この世に生まれてあと何年生きられますか。現実的に言いますと、日本人の平均寿命は外国人と比べると長いようですが、約80年です。男女差もあって女性の方が少し長生きするようです。

人生80年、それを日数で計算してみると、仮に82歳まで生きると、約3万日になります。あまりピンとこないので、1日1円とお金に換算すると3万円になります。言い換えれば、生まれた赤ちゃんは3万円の買った財布を持って生まれてくるようなものです。1日1円を使って、3万円を使い切ると人生が終わってしまうということです。

今現在、皆さんの人生の財布の中にはいくら残っていますか。中学3年生は15歳ですから、計算すると約5,475円を使い切って、残り24,525円残っています。それを多いと思うか少ないと思うかは、人それぞれで考えが違ふと思います。

そこで大事なことは、1日に皆平等に使える1円を無駄にしないでください。今日1日何をしたか、自分の成長に何が役立っていたのかしっかり考えて行動してください。限りある生命、後悔のない人生を送ってください。